

絶好の花見日和でした! 「福岡城さくらまつり」

アトム福大前 2018年04月04日
第25号

VIEW通信

●右がユキ、左はカナです



■福岡城のお堀に映る桜の花が素晴らしい!

今年の桜は満開の期間が長くて、好天気にも恵まれたので、4月1日の夜、舞鶴公園の桜が満開のうちに見に行くことができました。今年から有料の場所が増えて、どんな花見ができるか楽しみにしていましたが、人の多さには驚きました。特に外国人のお客がすごく多くて、しゃべっている言葉がほとんど理解できなくて、福岡もすごく国際化したなと感じました。そして有料化された場所も同じように人は多いし、桜のライトアップと言うより幻想的なオブジェクトが強調されていて、音楽もラップ系がずっと流れていました。足元に気を付けながら人の流れに付いていきました。このサイトで一番うれしかったのはアサヒの缶ビールの試飲コーナーで、一人一本ずつもらったことかな...。ここを出てお洒落な出店でかなり高額な(500円)ソフトクリームを買い、北側のお堀から帰りの駐車場に向かっていたら、すごい景色を見つけました!それが以下の写真です。空に大きな月も出ていてベストショットのシーンが撮れました!

■帰り道、お堀の外の歩道から素晴らしいライトアップが水面に映っていました ■大きな月も見ることができました



■何機もサーチライトが設置されていて、風が無かったので水面にきれいに対称的な桜が映っていました

■有料サイトはこんな感じ



我々が行ったのは日曜日の夕方から。きっと前日や前々日の週末は宴会がもつとすごかったのではないかと思います。ブルーシートで宴会しているのは日本人ばかりで、外国人は写真を撮りながら、おとなしく歩いていました。この日はとても暖かく、上着がいらぬほどの天気、汗をかきながらの見物でした。

今回は見るだけの花見でしたので、車で行きましたが、渋滞や駐車場の争奪戦を予想して、護国神社や美術館の方面を避け、大手門側のビジネス街から入りました。100円パーキングがすぐ見つかり、ほんのわずか歩くだけで会場に到着。犬たちは、あまりの人の多さに戸惑っていましたが、そこらじゅうに食べ物匂いがあるので、ずっと匂い嗅ぎをやめません。また暗いのでうちの黒い犬たちに気づかずほろ酔い客が近づいてくるのがとても大変でした。もちろん両親も連れて行ったので、初めての福岡での花見を、とても喜んでくれました。

帰りは六本松の「めんちゃんこ亭」で自分と父が軽くビールで乾杯とてもリーズナブルなお花見が堪能できました。

●3月は当店が一年で一番忙しい、福岡大学の新入学シーズンでした。毎年新しい学生たちが日本中からやってきます。今年が一番遠方からの学生は「北海道」から。近所の不動産屋さんからのご紹介で、県外からの学生たちの新生活家電を販売して10年になります。だんだん親御さんの年齢が若くなってきました。エレベーターなしの階段を冷蔵庫や洗濯機を運ぶために毎日足腰を鍛えて頑張っています。来年もまだまだ元気に頑張りたいと思います!

■テーマは「光と音楽による幻想的な空間」...ちょと難解...

